

基礎コース

. 日本語訳聖書翻訳比較研究をしましょう。

- 1 「原書講読」を開き、詩篇 139:24を読んで見ましょう。Psa 139:24をマウスで指定して下さい。(なぜ、詩篇139:24を例に挙げたのか、その理由は、「応用コース」の最初に解説してありますが、今は、気にせずに、このまま、コースを進んで下さい。)
- 2 「口語訳」「新改訳」「新共同訳」の翻訳を読んで下さい。
- 3 「悪しき道」「傷のついた道」「迷いの道」とかなり翻訳が違うことが分かります。これから、この違いの理由を調べる方法を解説しながら、「BDB辞書」「ミニ辞書」「コンコルダンス」機能についてお話しします。
- 4 この問題となる単語は、「文法解析データ」の5番の**דָּוַר**です。「文法解析データ」の表示は以下のように なっています。

- 4> **דָּוַר** (@ncbsN) 普通名詞男女単 [712](1870)
道, 旅, 習わし
- 5> **דָּוַר** (@ncmsN) 普通名詞男単 [4](6090)
悲しみ, 傷, 痛み, 偶像,

「文法解析データ」の表示の意味を説明します。

712 は、この単語の「使用回数」です。使用回数の精度については、「研究コース」 . **文法解析データ「WTM」の解説**を参照して下さい。

(1870) は、「ストロングナンバー」です。Strong Augustus Hopkin (1836-1921年 アメリカ・バプテスト派組織神学者) という学者が、英語訳聖書の各単語とそれに相当する原語の単語の対照表を作成し、各単語に番号を付けました。このナンバーは、英語圏で広まり、聖書原語の辞典には、このナンバーが付記されているものが多くあります。また、このナンバーは、電子化された「聖書データ」にも使用されています。このナンバーを知っていれば、ヘブル語単語を読めなくても英語の辞書が読めれば、そのヘブル語の意味が分かるという便利なものです。欧米で「聖書研究」を学ばれた方々は、この「ストロングナンバー」を利用されます。

- 5 ここで、原書講読画面の単語 4> **דָּוַר** の上にマウスを合わせ、ダブルクリックして下さい。すると、「デレック」と発音されます(スピーカーの音量を上げている事を確認して下さい)。
ご注意：「文法解析データ」の「ヘブル語単語指定」は、マウスポインターを「数字」の前に置き「クリック」あるいは「ダブルクリック」することをお勧めします。
- 6 次に、単語 5> **דָּוַר** をダブルクリックして下さい。今度は、発音されません。その理由は、単語の使用回数によります。**דָּוַר** は712回で、**דָּוַר** はたったの4回です。

- 7 今回のJB3では、原則として100回以上使用される単語（約500語）について「音声ファイル」を作成しました。[712]の数字が、100を越える場合単語が発音されます。
- 8 それでは、今、問題となっている単語 **כֹּזֵב** は、どのように発音するのでしょうか？
- 9 「文法書」を開き発音の方法を再学習する方法もありますが、ここでは「BDB辞書」を開いて見ましょう。
- 10 単語 5> **כֹּזֵב** をクリックして下さい。次に、画面の上にある「BDB辞書」ボタンをクリックします。すると、「BDB辞書画面」に以下の情報が表示されます。

כֹּזֵב

`otseb {o'-tseb}

06090

a variation of 06089; TWOT - 1666b,1667b; n m

AV - sorrow 2, wicked 1, idol 1; 4

1) pain, sorrow

2) idol

この情報の `otseb {o'-tseb}が発音記号です。`otseb（オツェブ）と発音すれば良いと分かります。この発音記号は、「BDB辞書」にはありませんが、「BDB辞書」の電子化を手がけた人々が旧約聖書ヘブル語学習の便宜の為にこの発音記号を追加してくれているのです。また、後ろの{o'-tseb}は、言語学上の発音表記です。（詳しい事は、「言語学辞典」等をお調べ下さい。）

- 11 さて、問題となる単語 5> **כֹּזֵב**の発音が分かったところで、その翻訳について考えましょう。「ミニ辞書」では、**悲しみ, 傷, 痛み, 偶像**, と訳語が記入されています。ここで、ご理解頂きたいのが「ミニ辞書」の作成原則です。この辞書は、「新改訳」の訳語を基準に作成されています。ですから「口語訳」「新共同訳」の訳語が記入されていない事が多くあります。また、「新改訳」の訳語の全てを記入しているわけではありません。本来ならば、「口語訳の為の旧約聖書原語辞書」「新改訳の為の旧約聖書原語辞書」「新共同訳の為の旧約聖書原語辞書」があることが望ましいのですが、それが出版されていないのが現状です。もし、完璧な「新改訳の為の旧約聖書原語辞書」を作成するとすれば、これだけでも、数年の歳月が必要です。そこで、JB3では「ミニ辞書」を提供し、それを補強する機能として「BDB辞書」と「コンコルダンス」を搭載しています。また、今回のJB3には「辞書作成機能」を搭載していますので、自分自身の「辞書」を作る事が出来ます（この方法は、「応用コース」で解説します）。

- 12 「ミニ辞書」では、**悲しみ, 傷, 痛み, 偶像**, と訳語が記入されています。「BDB辞書」では、どうでしょうか？

AV - sorrow 2, wicked 1, idol 1; 4

1) pain, sorrow

2) idol

AV - sorrow 2, wicked 1, idol 1; 4 は、英語訳のAV版では、**כֹּזֵב**が、sorrowと2回訳され、wickedと1回訳され、idolと1回訳され、合計4回登場する事を意味しています。

また、painとも訳される事を示しています。さらに、訳語情報がほしければ、「BDB辞書最新版（Whitaker氏により電子化されたものです。）」を開いて見ましょう。

- (13) 「BDB辞書最新版」を見ると以下のような情報が得られます。ここでは、**pain**に関して「of travail（陣痛）」「the pain of exile（捕囚の痛み）」また、*hurtful way*（傷の道）に関してof any wicked habit（何らかの悪習慣による）との訳語に対する「BDB辞書」の見解を知ることが出来ます。「BDB辞書」の現物があれば、ここで、**pg780**を開けば原典の情報がすぐに見つかり、旧約聖書に4回しか登場しないכַּוְוַּץについて伝統的な研究成果を正しく把握することが出来ます。

I. כַּוְוַּץ

n.[m.]

pain (of travail); 'עֲוֵרָה הַכַּוְוַּץ *hurtful way* (of any wicked habit); of the pain of exile. (pg780)

- 14 以上、単語 5> כַּוְוַּץ 「BDB辞書」の見解を見ました。ここで、頭にひらめくのは、כַּוְוַּץ は、「新改訳」基準とした「ミニ辞書」の**悲しみ, 傷, 痛み, 偶像**, だけでなく「英語」では、sorrow, wicked, idol, pain, idolと訳される可能性があるということです。
- 15 ここで、搭載されている「BDB辞書」についてお話しをします。「BDB辞書」の原本は、1冊なのですが、JB3には「BDB辞書」「BDB最新版（Whitaker's Dictionary）」二つの電子版が搭載されています。ここでその理由と、それぞれの簡単な特徴をお話しておきましょう。先の「BDB辞書」は、1988年にカナダで電子化が始まりました。1996年に、Windows'95用修正版が出されました。DOSのころからこの「BDB辞書」は使われてきています。DOSの頃に作ったものですから、辞書には、ヘブル語文字やアラビア文字、また、ギリシャ文字が含まれていますが、これらの情報は入れずに辞書の基本的な内容を「英語文字」のみで打ち込んでいます。「ミニ辞書」を作成する時にこの「BDB辞書」をチェックしながら作業をすすめましたが、所々タイプミスがありました。一方「BDB最新版」の方は、Dr. Richard Whitakerが1995年に作成を始めたものです。まだ、完成途中です。「BDB辞書」原本の1708-1118ページは「アラム語」の部分ですが、この部分はまだ打ち込まれていません。しかし、「BDB辞書最新版」は、辞書内容に、ヘブル語文字が入り、「BDB辞書」にない重要な情報が含まれています。また、Dr. Richard Whitakerは、「最終的には「BDB辞書」原本の全てを打ち込む計画」なので、この完成が待たれます。長々と書きましたが、結論は、「BDB辞書」「BDB最新版」を搭載してありますが、手元に「BDB辞書」原本を置いておいて下さいということです。特に、何かの研究の結論を決める場合、「BDB辞書」原本をぜひ読んで頂きたいと思います。「BDB辞書」は、いろいろな出版社から出ていますが、日本では、¥6000~¥8000で手に入ります。「ストロングナンバー付き」のもを入手されることをお勧めします。また、「BDB辞書」に表示される TWOT（Theological Wordbook of the Old Testament MOODY PRESS 1980 全2巻）があれば、表示TWOT - 1666b,1667bから、この旧約神学辞典をすぐ開け、最近の学者の見解を知ることが出来ます。
- 16 さて、本題の単語 5> כַּוְוַּץの訳語問題に戻ります。「ミニ辞書」では、**悲しみ, 傷, 痛み, 偶像**, と記入されていますが、この「精度」を検証してみましょう。
- 17 単語 5> כַּוְוַּץをクリックして下さい。画面上の「コンコルダンス」ボタンをクリックして

下さい。すると、コンコルダンス画面が表示されます。「頻度表」と共に以下の情報が表示されます。

עֲצָרָה 使用回数 4 回

1Ch 4:9 @ncmsN

Psa 139:24 @ncmsN

Isa 14:3 @ncmscX2msN

Isa 48:5 @ncmscX1csN

これは、「1Ch 4:9」「Psa 139:24」「Isa 14:3」「Isa 48:5」の4箇所 to עֲצָרָה が使われていることを示しています。

18 さて、ここで「コンコルダンス画面」の「リストボックス」の「1Ch 4:9」にマウスポインターを移動してクリックして下さい。すると「参照聖句画面」が開き「1Ch 4:9」を原書講読することが出来ます。

19 ここで、עֲצָרָה は「新改訳」（悲しんで）「口語訳」（苦しんで）「新共同訳」（苦しんで）と訳されています。以下は、「1Ch 4:9」「Psa 139:24」「Isa 14:3」「Isa 48:5」のעֲצָרָה の訳語を「コンコルダンス機能」を使い作った「訳語対照表」です。

	「1Ch 4:9」	「Psa 139:24」	「Isa 14:3」	「Isa 48:5」
口語訳	苦しんで	悪しき道	苦勞	偶像
新改訳	悲しんで	傷のついた道	痛み	偶像
新共同訳	苦しんで	迷いの道	苦痛	偶像

ここで分かることは、「ミニ辞書」のעֲצָרָה を作成した人は、「新改訳」の全てを見て「訳語」を記入したということです。「ミニ辞書」の精度は、完璧です。また、ここから明らかなのは、「Psa 139:24」のעֲצָרָה の「訳語にばらつき」があるという事です。「悪しき道」「傷のついた道」「迷いの道」と「翻訳」が異なる理由は、どこにあるのでしょうか？

(20) 訳語の違いの理由を、私たちは次の4つに分類しています。

- 1 「本文批評学的」...聖書の写本問題、古代訳の研究
- 2 「言語・文法的」...原語とその文法形態の研究
- 3 「背景情報的」...聖書が書かれた歴史、文化、地理的問題
- 4 「神学的(信仰的)」...翻訳者、翻訳委員会のもつ神学的背景

この中で、現在「J-ばいぶる」で検討できるのは、「言語・文法的」問題のみです。

「J-ばいぶる」を使った「翻訳比較研究」は、「言語・文法的」問題のみの範囲での結論しか導き出せない、という事です。しかし、この「言語・文法的」な問題が重要な位置を占めていることはお分かりの事と思います。聖書原語の研究の発展があつてこそ、聖書が世界中の言葉に翻訳されいるのです。高性能なパソコンが安価で手に入る時代に入り、米国を中心に、聖書原語、聖書翻訳の情報を統合化する動きがここ数年前から活発になりま

した。「J-ばいぐる」は、この世界の動向をとらえ、世界の聖書原語、聖書翻訳研究(者)団体とコンタクトをとり「世界レベル」の性能を目指して制作しています。詳しくは、「研究コース」で解説します。

21 さて、「Psa 139:24」の **כַּוְנָתוֹ** の「訳語のばらつき」の「言語・文法的」問題の結論に入りましょう。

22 「コンコルダンス機能」からの「観察」の結果は、使用回数4回とかなり少ないので、訳語にばらつきがあるのは、うなずけます。

23 「コンコルダンス機能」からの「口語訳」「新改訳」「新共同訳」の訳語研究からは、「Psa 139:24」の **כַּוְנָתוֹ** のみに「悪しき道」「**傷**のついた道」「迷いの道」と訳語にばらつきがあるという結論です。

24 「BDB辞書」には、**pain** (of travail); 'כַּוְנָתוֹ *hurtful way* (of any wicked habit); of the *pain* of exile. とあるので、「新改訳」の翻訳者は、*hurtful way* (of any wicked habit) の見解を訳語に当てたと「推論」出来ます。もし、この推論が正しいとすれば、「新改訳」の「**傷**のついた道」の、「**傷**」は、「何か悪習慣が自らの中にあり、その悪習慣によって自分が傷ついた**傷**」と「翻訳者」が想定した事になります。さらに、「新改訳」は、「NASB (New American Standard Bible) 1960年刊行」を「参考」にして翻訳されたと言われていいますので、「NASB」を見ると、And see if there be any hurtful way in me,と訳されていますので、翻訳者は、この見解を採用したことも考えられます。「日本語訳聖書翻訳比較研究」に、「新改訳」を入れる場合この「NASB」が「J-ばいぐる」に搭載されていることが望ましいのですが、「NASB」電子データの著作権交渉の門を叩けないのが現状です。しかたなく、今は本の「NASB」を開いて研究調査しています。さて、「新改訳」の「訳語選択」については、大変参考になる本があります。「新聖書注解 全5全巻(いのちのことば社)1977年完結」です。新改訳の翻訳者が全て執筆したわけではありませんが、「新改訳」の翻訳を意識して、他の聖書翻訳を参照しながら、注解を進めています。ここで、今回の詩篇139篇24節のページを開いて見ましょう。以下、引用です。

<傷のついた>は、苦悩、苦痛の意で、<傷のついた道>とは、苦痛へ導く道のこと。この語は 偶像(イザヤ四八5)をも表すので、「偶像の道」と訳す者もあるが(アゲレン、関根訳、70人訳、ラテン語訳、フランシスコ会訳「不信の道」)、詩人がそのような懸念のあった人物であった暗示はどこにもない。

新英訳は「あなたを悩ます道」。旧約 3p.371-372

この注解では、なぜ **כַּוְנָתוֹ** を「**傷**」と訳したのか、その理由として、「偶像の道」を否定し、

「苦悩」「苦痛」の意味があるので、その同意語として「傷」を採用したことを、述べています。また、「あなたを悩ます」も訳語としては、良い可能性があるかと述べています。しかし、「傷」と訳す事が、どうして、効果的であるのかは、述べていません。結局のところ、「翻訳者」に登場していただかなければ、明確な「訳語選択」の理由は、分からないのが現状です。

私が、「新聖書注解」を引用したのは、「J-ばいぶる」による「言語・文法的」翻訳比較の作業は、「注解書」を執筆する方々は、必ずやっている作業であることを理解して頂きたかったからです。また、それだけでなく、「J-ばいぶる」による「言語・文法的」翻訳比較研究の方法を熟知し、その作業をし、その後で「注解書」を読めば、その「注解書」がどのような目的で書かれているかが、一目瞭然、すなわち、「注解書」を選ぶ目が確実に鋭くなる事を知って頂きたかったからです。

4 さて、次に「口語訳」の「悪しき道」の訳語選択について考えてみましょう。英語訳で良く使われる訳語「wicked」の見解を取ったと「想定」出来ます。「口語訳」は、戦後まもない我が国に「文語体」から「口語体」への移行の波が押し寄せた頃の1950年（昭和26年）に「改訳委員会」が発足し、「旧約」は、1955年にその刊行がなされました。この時代の翻訳者の方々は、原語の辞書と取り組みながら、他国語訳の聖書を参考に訳業に取り組みされたことを想うと本当に頭が下がります。

5 「新共同訳」の「迷いの道」は、非常に興味深い「訳語」です。なぜなら、「BDB辞書」にも、他の英語訳（「NKJV」「TEV」に限ってですが）にも、「迷いの道」という「訳語」は使われていません。先の「新改訳」「口語訳」のところで、私は、「推論」「想定」というあいまいな言葉を使いましたが、その理由は翻訳（者）委員会がその「選択」理由を公開していないこと、また、翻訳委員会に問い合わせても、すぐに返事がこないこと、また、翻訳者が存命でない場合があります。「新しい聖書翻訳」がされたならば、その翻訳原則に基づいた「翻訳者による翻訳注解書」が出版されるのが理想です。しかし、「口語訳（1955年刊行）」「新改訳（1970年刊行）」には、それが出来なかったのが現状です。しかし、「新共同訳（1987年刊行）」の場合は、「翻訳者による注解書の出版」を原則に、「新共同訳 聖書注解書（日本基督教団出版局）」が出版され全5巻が1996年に完結しました（参考：木田献一「新共同訳 聖書注解（全5巻）の完結によせて」本のひろば 7 1996）。この「聖書注解」は、その性質上「訳語問題」について明確に「選択理由」が述べられている場合が多いのです。この詩編139:24の注解を開くときちゃんと「迷いの道」の解説がされています。以下、引用です。

『迷いの道』すなわち偶像に従う道から『とこしえの道』すなわち神に至る道に導かれることを求める。（p.175 「旧約聖書」）

「新共同訳」の訳語選択の理由は、「新共同訳 聖書注解」に述べられています。しかし、「新共同訳 聖書注解」の場合、他の聖書翻訳の訳語の調査が記載されていない場合が多く見られ残念です。この個所でも、「迷いの道」に関して、「口語訳」「新改訳」この二つの公同の日本語訳聖書の「訳語」についての報告がありません。また、「迷いの道」とする優位性に関しては何も述べていないのが残念です。「残念です。」と「新聖書注解」「新共同訳 聖書注解」について書きましたが、この2作は、我が国の「聖書研究」の歴史の中で、高い評価を受けていますし、また、私も利用させて頂いています。「全てを完璧に満たす注解書」は存在しません。「注解書」は、「聖書翻訳」と同じように、「原則」を定め出版されていることを理解してお使いになる事をお勧めします。我が国には、先に述べた「翻訳者による翻訳注解書」がないのが現状です。ですから、真剣に「日本語の聖書翻訳研究」をしようとする、このJB3のような原語からの「日本訳聖書比較研究」機能が必要となるのです。

果たして、「悪しき道」「傷のついた道」「迷いの道」そのどれが、良いのでしょうか？結局のところ、公同の日本語訳聖書を使う私たちが、その翻訳を信頼して、そのままを受け入れるか、それとも、自分自身でその結論を出すか、二つにひとつしかありません。21世紀を前に「超教派」の集会が多くなっています。「口語訳」「新改訳」「新共同訳」「英語訳」と様々な「翻訳聖書」を持った人々が、一同に会して神のことば「聖書」からメッセージを聞く機会が多くなっています。「説教者」は、自分自信の「結論」を出さなければなりません。「J-ばいぶる」による「言語・文法的」日本語訳聖書翻訳比較機能は、「訳語選択」の「結論」出す、あるいは、「訳語選択」の問題点明確にするためにあるのです。

6 以上、「J-ばいぶる」を使った詩篇 139 篇 24 節の **コヅツ** の「訳語選択」問題を例に上げ、「BDB 辞書」の使い方、「コンコルダンス」の使い方、「口語訳」「新改訳」「新共同訳」翻訳の歴史、「注解書」について述べながら、ここまで来ました。以下に、「J-ばいぶる」を使った「日本語訳聖書翻訳比較」のプロセスをまとめます。このプロセスは、「旧約聖書ヘブル語初級」をマスターしている事を前提に書いています。「J-ばいぶる」には、「文法書」が掲載されています。それを参考にして下さい。JB3は、「文法書」「基本単語学習」機能で「旧約聖書ヘブル語」の独習することが出来るようになっていきます。

「J-ばいぶる」による「日本語訳聖書翻訳比較研究」のプロセス

- (a) 翻訳が違う個所を発見する。
- (b) 「原書講読画面」でその聖句を開きます。
- (c) 「文法解析データ」から、問題となる「訳語」の「原語」を見つけます。

- (d) 「原語」の使用回数を確認します。(100回以上の場合、作業時間がかなりかかることを覚悟しましょう。)
- (e) 「BDB辞書」で「原語」の「英語」での語義範囲を理解します。
- (f) 「コンコルダンス」機能で、「ミニ辞書」の「精度」を確認します。「精度」が低い場合、「辞書作成機能」を使い、辞書を完成します(この方法は、応用コースで解説していますので、初級コースをマスターした後でここをご覧ください)。
- (g) 「コンコルダンス」機能で、「口語訳」「新改訳」「新共同訳」の「訳語対照表」を作ります。
- (h) この「訳語対照表」を「観察」し、「訳語選択」の問題点を明確にします。
- (i) 「新聖書注解」「新共同訳 聖書注解」を調査します。(この時に、「言語・文法的」違いだけでなく、「本文批評的」「背景情動的」「神学的(信仰的)」違いを意識して読むことをお勧めします。)
- (j) 「訳語選択」の問題点を明らかにします。
- (k) 「結論」を出します。

付記:「原書講読画面」「コンコルダンス画面」「聖句参照画面」「BDB辞書」画面の情報は、各画面にある「クリップボードコピー」を利用して、ワープロ画面に「貼り付け」て、「印刷」、「保存」が出来ます。「ワープロ・ソフト」は、「MS-WORD」あるいは、WIN095に搭載されている「Wordpad」をご利用下さい。

最後に、「JB3」を使った「**ヘブル語文法の効果的な学び方**」のお話をします。以下、3つの方法が良いでしょう。

- 1 「ツール」→「文法学習書」で文法書を開きます。「資料」→「創世記1:1~2:3の私訳(英語)の解説」に進んで下さい。右側に1:1~2:3までのリストが出るようにしてあります。この1節1節を読みながら、実際に「原書講読画面」の「BHS本文」「日本訳」「文法解析データ」を見て、「文法書」に書かれている内容を**徹底的に理解する努力**をして下さい。文法事項で不明確な点があれば、「文法書」をもう一度見て、確認します。もし、ユーザーの皆様が、「創世記1:1~2:3」のヘブル語本文の中にある、文法事項を理解されてたならば、皆様の「ヘブル語学習能力」は、飛躍的に向上します。また、「研究コース」の「旧約聖書ヘブル語研究」で紹介した「**聖書ヘブライ語**」キリスト教図書出版社もお薦めします。
- 2 「注解書」を開きながら、ヘブル語文法に関連する事柄を「JB3」でひとつひとつ**丁寧に調べて行く**方法があります。もし、一つの書巻をこのように調べるならば、あなたは、そ

の書巻をマスターすることができます。「聖書の達人」には、「実用聖書注解」が搭載されていますので、これを利用するのも効率的です。お持ちの方は、これでチャレンジしてみてください。

- 3 最後は、以下の2つの「応用問題」を解くことです。「J-ばいぶる」を使いこの2つの問題にチャレンジして下さい。この2つの問題を解ければ、あなたは、完璧に「基礎コース」をマスターしたことになります。

問題1：詩篇47：7の「巧みな歌」の訳語は、いずれの翻訳をあなたは選択しますか？

[口語訳] 詩篇

47:7 神は全地の王である。巧みな歌をもってほめうたえよ。

[新改訳] 詩篇

47:7 まことに神は全地の王。巧みな歌でほめ歌を歌え。

[新共同訳] 詩編

47:7 歌え、神に向かって歌え。歌え、我らの王に向かって歌え。

問題2：創世記28:12の「はしご(階段)」が「どこから、どこへ」向かっているのでしょうか？

[口語訳] 創世記

28:12 時に彼は夢をみた。一つのはしごが地上に立っていて、その頂は天に達し、神の使たちがそれを上り下りしているのを見た。

[新改訳] 創世記

28:12 そのうちに、彼は夢を見た。見よ。一つのはしごが地に向けて立られている。その頂は天に届き、見よ、神の使いたちが、そのはしごを上り下りしている。

[新共同訳] 創世記

28:12 すると、彼は夢を見た。先端が天まで達する階段が地に向かって伸びており、しかも、神の御使いたちがそれを上ったり下ったりしていた。